

議 長	局 長 等	次 長	リ-ダー	担 当	合 議
					 

令和6年 6月 15日

養父市議会議長

西 田 雄 一 様

議員氏名 谷 垣 満

政務活動概要報告書

政務活動の概要を下記のとおり報告いたします。

記

- 1 活 動 月 日 令和6年5月21日(火) 13:30~16:00
- 2 活 動 場 所 西脇市役所(市議会 委員会室)
- 3 活 動 者 氏 名 谷垣 満、瀬原 敬樹
- 4 活 動 内 容 「西脇市議会における議会改革の勉強会」  
講師：西脇市議会 議員4名

5 活 動 成 果

西脇市議会は議会改革ランキングで常に上位に位置しており、これからの議会に必要な変革を続けている。議会改革を進められた原動力と改革に対する議会、議員の考え方や取組について学んだ。

西脇市議会では、議員の本質的な職務である「議案審議」を効果的に進める仕組みを設けており大変参考になるものであった。議案の配付後、委員長調整会、議案説明会、委員会協議会を開催し、事前に委員間討議を行ったうえで審議に挑んでいる。各委員が質疑を持ち寄りその背景や問題点を共有することで、論点の明確化と審査の質の向上が図られている。また、監査報告会を行い議選監査委員の意見や視点を審議に盛り込んでいることも特筆すべき点である。これらの取組



は、議会の役割をより効果的・効率的に果たすとともに、新人議員の研鑽と習熟の機会になっていると感じられた。また、予算の議決後、執行状況を常任委員会で確認し、ここでも議選監査委員の意見も踏まえ、対象者や住民の意見を議会と語ろう会（議会報告会）で把握したうえで、事業評価と改善提言を行う仕組みが確立している。決算においては、それらの事業評価を基に政策提言につなげることを目的としており、その後の住民意見の聴取にも議会報告会が活かされている。これら一連の議会活動サイクルを市民と共に進めていることが、議会の成果と役割を市民に伝えることにつながっている。本来あるべき住民自治の実現には、議会はもとより住民参加と協働が欠かせないものとなっている。それらの実現に向けた取組を主体的・主導的に行うことも議会の役割の一つであると感じた。他にも、議長による新人議員研修や議会基本条例の定期的な見直し、議長との対話を目的とした議長室茶話会や住民団体等とテーマを定めた意見交換を行う課題懇談会など、本市議会においても実践可能な手法を学べたことは有意義な機会であった。

議会の継続性において、任期間中の議会と議員の活動が将来につながるものであり、その責任は現職議員が担っている。そのような意識を、議長を中心に議員間で共有することが重要であると改めて実感した。各議員が常に意識し改善や変革に取り組む意識の共有こそ議会改革推進に必要な議会の能力であると実感した。

決 裁	議 長	局 長 等	次 長	リ-ダー	担 当	合 議	
							

令和6年 7月 30日

養父市議会議長

西 田 雄 一 様

議員氏名 谷 垣 満

政務活動概要報告書

政務活動の概要を下記のとおり報告いたします。

記

- 1 活 動 月 日 令和6年7月2日(火)、8日(月)～9日(火)
- 2 活 動 場 所 市議会第1委員会室、京都府綾部市、京都市
- 3 活動者氏名 谷垣 満、深澤 巧、田路 之雄、西垣 司、瀬原 敬樹
- 4 活 動 内 容 研修会及び管外視察

「養父市の産業歴史と先人の功績について」

■研修会

「北垣国道の人物像と功績について」

日時：7月2日(火) 10:00～11:30

場所：市議会第1委員会室

講師：養父市社会教育委員長 北垣国道研究会 代表

村上 義隆 氏

■管外視察

「近代養蚕業の隆盛と養父市 まちのなりたちについて」

日時：7月8日(月) 10:00～12:00

視察先：ゲンゼ博物苑(京都府綾部市)

■管外視察

「琵琶湖疏水 日本の近代化と北垣国道・島田道生らの功績について」

日時：7月9日(火) 10:00～12:00

視察先：琵琶湖疏水記念館(京都府京都市)



## 5 活動成果

市政に携わる立場の議員として、本市の成り立ちや文化に大きな影響を与えた養蚕業と、北垣国道、島田道生など故郷の先人の功績を学ぶことを目的に研修会と管外視察を行った。

### ■研修会：「北垣国道の人物像と功績について」

市社会教育委員長の村上義隆氏をお招きして研修会を実施した。

国家的な変革の時代に幾多の危機を脱した背景には、信念に基づき自身の命運をも顧みない行動と、誠実・真面目な性格から多くの同志や後輩から慕われたことが窺えた。池田草庵先生とのつながりも深く、周囲の人々や地域に対する利他の精神により多くの人を惹きつけたことが、京都府知事、北海道庁長官など様々な要職の任を受け偉業を成し得た一因であると感じた。また、明治40年に建屋小学校を参観した折には金100円と肖像写真を寄付したり、没後、8反2畝の水田を建屋小学校に寄付し、農家に貸し出された水田の使用料（年貢）が学校運営の資金となったエピソードからも、歴史的な史実の偉大さだけでなく、本市に寄与した功績と郷土への愛着を改めて知る機会となった。

### ■管外視察：グンゼ博物苑

「近代養蚕業の隆盛と養父市 まちのなりたちについて」

上垣守国翁の功績と養蚕業は本市の文化や経済振興に深く関わっており、グンゼ株式会社とも深いつながりがある。大正3年、既存製糸所の買収によりグンゼ八鹿工場が設置された。多くの工員が周辺地域から集まり寮や社宅で生活していたことで、八鹿のまちなかの経済と地域振興に大きく寄与したことが窺えた。また、「三つの驍」が示す工員等に対する教育や、勤続年数に応じて家財道具（筆筒や化粧台等）を進呈する制度などは、従事者とともに共存共栄をはかり地域の次世代育成をも担う郡是創業の精神であり、地域振興・発展に資する民間企業の役割と理念を明確に示すものであると感じられた。

当時、若い工員で賑わった八鹿工場跡地は、現在、市民交流の場となっている。現代の若い世代が集う活気ある風景を目にすると、本市の歴史や文化は時代を超えて受け継がれていくものであることが感じられ、その大切さを実感した。

## ■管外視察：琵琶湖疏水記念館

「琵琶湖疏水 日本の近代化と北垣国道・島田道生らの功績について」

琵琶湖疏水は北垣国道が京都府知事就任時に成し遂げた未曾有の大工事である。東京遷都により衰退していた産業の復興を目指し、周辺地域や住民の反対にも真摯に向き合い議会の議決を経て事業を進めた姿には、政治家としての信念と気概の強さを感じられた。舟運による物流、灌漑や防火の用水、水車動力による発電などその有用性を解き、莫大な費用と長い歳月を以ってしても今なおその恩恵を地域にもたらしていることから、高い政治判断と先見の明であったことが窺える。また、欧米の先進の測量技術で実績を積んでいた八鹿町出身の島田道生を測量主任にあてたり、工部大学校（現 東京大学工学部）を卒業して間もない田邊朔郎に主任技師を任せるなど、若い才能を抜擢した背景には、自身の立場で次世代の育成を担い、永続的な地域振興と技術の発展を目指した長期的な政策であるとも推察される。そのような北垣国道の功績からも、故郷の偉大な先人としてだけでなく、政治家として利他の使命を全うする姿勢に感銘を受けた。

### まとめ

故郷の先人の功績を学んだことで、多くの気づきと本市の歴史認識を深めることができた。文化・歴史承継の重要性と共に、民間企業との有効な関係性を構築することが地域振興・発展に必要であると感じた。また、次世代に対する現役世代の責任と役割を改めて認識する機会となった。時代背景や環境は異なるものの、核となる部分には人としての信頼や共感を得る行動や信念が大切であり、そのような人のつながりが偉業を成し遂げる原動力であり推進力となることを感じた。

今回の研修会・管外視察を、今後の自身の議員活動や政治家としての活動に活かし、地域振興・発展と住民福祉の充実に寄与したい。